

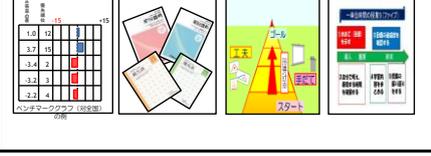
## 研修共通スライド

<p>共ー1</p>		<p>これから、「子どもの学びを支えるヒント集2」を活用した校内研修を始めます。</p>																																			
<p>共ー2</p>	<p>はじめに 6つの研修の概要</p> <p>研修の取り扱い ①研修はそれぞれで完結しているため、シリーズでも単独でも扱うことができる。 ②同日の研修で、2つ以上の研修を組み合わせて行うこともできる。</p> <table border="1" data-bbox="359 952 790 1176"> <thead> <tr> <th></th> <th>研修の名称</th> <th>おすすめ時期</th> <th>「ヒント集2」の対応箇所</th> <th>研修時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I</td> <td>授業づくり共通理解研修</td> <td>4～5月</td> <td>P4・5「課題解決のための4つのプロセス」</td> <td>約30分</td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>自校採点后研修</td> <td>4～5月</td> <td>P4「プロセス1・2」 実践事例のプロセス1・2</td> <td>約60分</td> </tr> <tr> <td>III</td> <td>結果公表後研修</td> <td>8～9月</td> <td>P4「プロセス1・2」 実践事例のプロセス1・2</td> <td>約65分</td> </tr> <tr> <td>IV</td> <td>単元計画研修</td> <td>適年</td> <td>P5「プロセス3」 実践事例のプロセス3</td> <td>約60分</td> </tr> <tr> <td>V</td> <td>本時計画研修</td> <td>適年</td> <td>P5「プロセス4」 実践事例のプロセス4</td> <td>約55分</td> </tr> <tr> <td>VI</td> <td>学校・学年の取り組み ブラッシュアップ研修</td> <td>学期当初</td> <td>P22～38「思考力・判断力・ 表現力等を育むための集地となる 学校・学年の取り組み」</td> <td>約50分</td> </tr> </tbody> </table>		研修の名称	おすすめ時期	「ヒント集2」の対応箇所	研修時間	I	授業づくり共通理解研修	4～5月	P4・5「課題解決のための4つのプロセス」	約30分	II	自校採点后研修	4～5月	P4「プロセス1・2」 実践事例のプロセス1・2	約60分	III	結果公表後研修	8～9月	P4「プロセス1・2」 実践事例のプロセス1・2	約65分	IV	単元計画研修	適年	P5「プロセス3」 実践事例のプロセス3	約60分	V	本時計画研修	適年	P5「プロセス4」 実践事例のプロセス4	約55分	VI	学校・学年の取り組み ブラッシュアップ研修	学期当初	P22～38「思考力・判断力・ 表現力等を育むための集地となる 学校・学年の取り組み」	約50分	<p>「子どもの学びを支えるヒント集2」を徹底活用する校内研修パッケージ概要はこのようになっています。 ※研修担当者はスライドを読み上げる。</p>
	研修の名称	おすすめ時期	「ヒント集2」の対応箇所	研修時間																																	
I	授業づくり共通理解研修	4～5月	P4・5「課題解決のための4つのプロセス」	約30分																																	
II	自校採点后研修	4～5月	P4「プロセス1・2」 実践事例のプロセス1・2	約60分																																	
III	結果公表後研修	8～9月	P4「プロセス1・2」 実践事例のプロセス1・2	約65分																																	
IV	単元計画研修	適年	P5「プロセス3」 実践事例のプロセス3	約60分																																	
V	本時計画研修	適年	P5「プロセス4」 実践事例のプロセス4	約55分																																	
VI	学校・学年の取り組み ブラッシュアップ研修	学期当初	P22～38「思考力・判断力・ 表現力等を育むための集地となる 学校・学年の取り組み」	約50分																																	
<p>共ー3</p>	<p>はじめに 6つの研修の概要</p> <table border="1" data-bbox="359 1422 790 1713"> <thead> <tr> <th></th> <th>研修の名称</th> <th>研修の目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I</td> <td>授業づくり共通理解研修</td> <td>全国学力・学習状況調査を活用した課題解決のための授業づくりについて知り、今後の授業づくりのヒントにすることができる。 <b>課題解決のための4つのプロセスとは？</b></td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>自校採点后研修</td> <td>自校の採点結果から、課題を捉え、今後の指導の改善・充実の方向を共有することができる。 <b>「正答率の低い問題を課題に！」</b></td> </tr> <tr> <td>III</td> <td>結果公表後研修</td> <td>全国平均正答率との差から自校の課題を捉え、今後の指導の改善・充実の方向を共有することができる。 <b>「全問正答の大きい問題を課題に！」</b></td> </tr> <tr> <td>IV</td> <td>単元計画研修</td> <td>小学校国語を題材に、総論を単元として捉えることで、単元を計画する力を高めることができる。 <b>「調査問題を単元に！」</b></td> </tr> <tr> <td>V</td> <td>本時計画研修</td> <td>小学校算数を題材にして、「授業5」を意識することで、本時を計画する力を高めることができる。 <b>「授業5」を意識して！」</b></td> </tr> <tr> <td>VI</td> <td>学校・学年の取り組み ブラッシュアップ研修</td> <td>学力向上に向け、現在の学校・学年の取り組みを振り返るとともに、他校の実践事例を参考にすることを通して、より実効的な学校の取り組みを構想することができる。 <b>「100のアイデアを参考に！」</b></td> </tr> </tbody> </table>		研修の名称	研修の目的	I	授業づくり共通理解研修	全国学力・学習状況調査を活用した課題解決のための授業づくりについて知り、今後の授業づくりのヒントにすることができる。 <b>課題解決のための4つのプロセスとは？</b>	II	自校採点后研修	自校の採点結果から、課題を捉え、今後の指導の改善・充実の方向を共有することができる。 <b>「正答率の低い問題を課題に！」</b>	III	結果公表後研修	全国平均正答率との差から自校の課題を捉え、今後の指導の改善・充実の方向を共有することができる。 <b>「全問正答の大きい問題を課題に！」</b>	IV	単元計画研修	小学校国語を題材に、総論を単元として捉えることで、単元を計画する力を高めることができる。 <b>「調査問題を単元に！」</b>	V	本時計画研修	小学校算数を題材にして、「授業5」を意識することで、本時を計画する力を高めることができる。 <b>「授業5」を意識して！」</b>	VI	学校・学年の取り組み ブラッシュアップ研修	学力向上に向け、現在の学校・学年の取り組みを振り返るとともに、他校の実践事例を参考にすることを通して、より実効的な学校の取り組みを構想することができる。 <b>「100のアイデアを参考に！」</b>	<p>「子どもの学びを支えるヒント集2」を徹底活用する校内研修パッケージの概要はこのようになっています。 ※研修担当者はスライドを読み上げる。</p>														
	研修の名称	研修の目的																																			
I	授業づくり共通理解研修	全国学力・学習状況調査を活用した課題解決のための授業づくりについて知り、今後の授業づくりのヒントにすることができる。 <b>課題解決のための4つのプロセスとは？</b>																																			
II	自校採点后研修	自校の採点結果から、課題を捉え、今後の指導の改善・充実の方向を共有することができる。 <b>「正答率の低い問題を課題に！」</b>																																			
III	結果公表後研修	全国平均正答率との差から自校の課題を捉え、今後の指導の改善・充実の方向を共有することができる。 <b>「全問正答の大きい問題を課題に！」</b>																																			
IV	単元計画研修	小学校国語を題材に、総論を単元として捉えることで、単元を計画する力を高めることができる。 <b>「調査問題を単元に！」</b>																																			
V	本時計画研修	小学校算数を題材にして、「授業5」を意識することで、本時を計画する力を高めることができる。 <b>「授業5」を意識して！」</b>																																			
VI	学校・学年の取り組み ブラッシュアップ研修	学力向上に向け、現在の学校・学年の取り組みを振り返るとともに、他校の実践事例を参考にすることを通して、より実効的な学校の取り組みを構想することができる。 <b>「100のアイデアを参考に！」</b>																																			

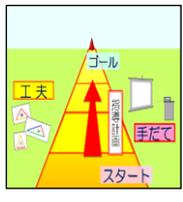
## I 授業づくり共通理解研修

I - 1	<div style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; text-align: center;">I 授業づくり共通理解研修</div> <p>【目的】 全国学力・学習状況調査を活用した課題解決のための授業づくりについて知り、今後の授業づくりのヒントにすることができる。</p>	<p>「I 授業づくり共通理解研修」の目的は「全国学力・学習状況調査を活用した課題解決のための授業づくりについて知り、今後の授業づくりのヒントにすることができる」ことです。</p>
I - 2	<div style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; text-align: center;">I 授業づくり共通理解研修</div> <p>【準備物】 ・「ヒント集2」P4・5 ・ワークシート</p>	<p>準備物はこのようになっています。 ※研修担当者はスライドを読み上げる。</p>
I - 3	<div style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; text-align: center;">I 授業づくり共通理解研修</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right; font-size: small;">時間 約30分</p> <p>○全国調査を生かした授業づくりについて考える。(3分) ↓</p> <p>○書いたことを交流する。(4分) (グループ) ↓</p> <p>○「ヒント集2」P4・5を読む。(10分) ↓</p> <p>○気付きを書く。(3分) (個人) ↓</p> <p>○気付きを交流する。(5分) (グループ) ↓</p> <p>○全体で報告する。(5分)</p> <p style="text-align: right; font-size: x-small;">※時間は目安です。</p> </div>	<p>研修の流れはこのようになっています。約30分を予定しています。</p>

I - 4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">I 授業づくり共通理解研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国調査を生かした授業づくりについて考える。</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○書いたことを交流する。 (グループ)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○「ヒント集2」P4・5を読む。</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○気付きを書く。 (個人)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○気付きを交流する。 (グループ)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○全体で報告する。</li> </ul> </div>	<p>それでは、みなさんは全国学力・学習状況調査は授業づくりにどのように生かせると思いますか。 (次のスライドでワークシートを示す)</p>
I - 5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">I 授業づくり共通理解研修</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1; padding-right: 10px;"> <p>※ワークシートの赤枠部分に記入してください。</p> </div> <div style="flex: 2;">  </div> </div> </div>	<p>個人で、ワークシートの赤枠部分に記入してください。</p>
I - 6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">I 授業づくり共通理解研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国調査を生かした授業づくりについて考える。</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○書いたことを交流する。 (グループ)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○「ヒント集2」P4・5を読む。</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○気付きを書く。 (個人)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○気付きを交流する。 (グループ)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○全体で報告する。</li> </ul> </div>	<p>それでは、個人で書いたことを基に交流してください。 (次のスライドでワークシートを示す)</p>

<p>I - 7</p>	<p>I 授業づくり共通理解研修</p>  <p>※ワークシートの赤枠部分に記入してください。</p>	<p>交流した内容は、ワークシートの赤枠部分に記入してください。</p>
<p>I - 8</p>	<p>I 授業づくり共通理解研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国調査を生かした授業づくりについて考える。</li> <li>↓</li> <li>○書いたことを交流する。 (グループ)</li> <li>↓</li> <li>○「ヒント集2」P4・5を読む。</li> <li>↓</li> <li>○気づきを書く。 (個人)</li> <li>↓</li> <li>○気づきを交流する。 (グループ)</li> <li>↓</li> <li>○全体で報告する。</li> </ul>	<p>それでは、全国学力・学習状況調査を活用した授業づくりについて、「ヒント集2」P4・5をご覧ください。これらからプレゼンを用いて説明をします。</p>
<p>I - 9</p>	<p>第1章 P4</p> <p>課題解決のための4つのプロセス</p> <p>プロセス1: 課題の把握をする 全国学力・学習状況調査の結果を分析する</p> <p>プロセス2: 単元の目標を定める 「新読資料」や「種別集」で学習指導要領との関係を確かめる</p> <p>プロセス3: 単元を計画する 身に付けさせたい力にふさわしい言語活動を位置付ける</p> <p>プロセス4: 本時の授業を計画する 「岡山県学習指導要領のスタンダード」の「授業ら」を参考に1単元単元を構成する</p> 	<p>全国学力・学習状況調査で見られた課題の解決のためには、普段の授業そのものを改善・充実していくことが大切です。ここには、課題解決のためには、4つのプロセスで授業を計画していくことが書かれています。この4つのプロセスの考え方はどの教科でも共通している授業づくりの考え方です。一つずつ確かめていきましょう。</p>

<p>I - 10</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">P4</p> <p><b>プロセス1：課題の把握をする</b></p> <p style="text-align: center;">全国学力・学習状況調査の結果を分析する</p> <p style="text-align: center;">自校と全国・県との比較</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">正 答 率</td> <td style="text-align: center;">順 位</td> <td style="text-align: center;">優 先</td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="text-align: center;">+15</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3.7</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-3.4</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-3.2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-2.2</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">ベンチマークグラフ（対全国）の例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○平均正答率 ○無解答率</p> <p>*正答率そのものが低い問題</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>課題の把握・ 取り組みの優先順位</b></p> </div> </div>	正 答 率	順 位	優 先		+15	1.0	12	15	■		3.7	15	15	■		-3.4	2	15	■		-3.2	3	15	■		-2.2	4	15	■		<p>プロセス1では、全国学力・学習状況調査の設問別に、全国と自校の平均正答率の差を明らかにします。その際、義務教育課から配付されている「結果分析及び学力向上改善プラン作成支援ツール」を活用します。ツールの中のベンチマークグラフを使い、差の大きい設問から取り組みの優先順位を付けます。また、平均正答率そのものが低い設問も課題として捉えます。</p>
正 答 率	順 位	優 先		+15																												
1.0	12	15	■																													
3.7	15	15	■																													
-3.4	2	15	■																													
-3.2	3	15	■																													
-2.2	4	15	■																													
<p>I - 11</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">P4</p> <p><b>プロセス2：単元の目標を定める</b></p> <p style="text-align: center;">「解説資料」や「報告書」で 学習指導要領との関連を確かめる</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <table border="1" style="margin-left: 10px; font-size: x-small;"> <tr> <td colspan="2">調査問題の設問と学習指導要領との関連を確認</td> </tr> <tr> <td>「解説資料」</td> <td>調査実施とともに配付・Web公開</td> </tr> <tr> <td>「報告書」</td> <td>調査結果公表とともに配付・Web公開</td> </tr> <tr> <td colspan="2">課題と捉えた学力を正確に捉えるために活用</td> </tr> <tr> <td>「振りかえりプリント集」</td> <td>義務教育課から配付</td> </tr> <tr> <td>「校内研修パッケージ」</td> <td>総合教育センターWebページ *「学習指導要領と過去の調査問題の関連一覧表」掲載</td> </tr> </table> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">単元の目標及び 評価基準の設定</p> </div>	調査問題の設問と学習指導要領との関連を確認		「解説資料」	調査実施とともに配付・Web公開	「報告書」	調査結果公表とともに配付・Web公開	課題と捉えた学力を正確に捉えるために活用		「振りかえりプリント集」	義務教育課から配付	「校内研修パッケージ」	総合教育センターWebページ *「学習指導要領と過去の調査問題の関連一覧表」掲載	<p>プロセス2では、全国学力・学習状況調査実施とともに配付される「解説資料」結果公表後に配付される「報告書」を読み、課題として把握した設問が、学習指導要領とどのように関連しているかを確認します。一つ一つの設問には、学習指導要領の領域・内容が密接に関連しています。このプロセスを経ることで、教師は課題となっている学力に対し理解を深めることができます。また、義務教育課から配付された「振り返りプリント集」や総合教育センターのWebページに掲載されている「全国学力・学習状況調査と学習指導要領の関連表」を活用して、課題となっている学力について多面的に捉えていきます。その上で、単元の目標及び、評価規準を設定していきます。</p>																		
調査問題の設問と学習指導要領との関連を確認																																
「解説資料」	調査実施とともに配付・Web公開																															
「報告書」	調査結果公表とともに配付・Web公開																															
課題と捉えた学力を正確に捉えるために活用																																
「振りかえりプリント集」	義務教育課から配付																															
「校内研修パッケージ」	総合教育センターWebページ *「学習指導要領と過去の調査問題の関連一覧表」掲載																															

<p>I - 12</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right; margin: 0;">P5</p> <p><b>プロセス3：単元を計画する</b></p> <p style="text-align: center;">身に付けさせたい力にふさわしい 言語活動を位置付ける</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="font-size: small;"> <p>全国調査そのものを活用した単元計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」</li> <li>○B問題そのものが1つの単元</li> <li>○A・B問題が教材</li> </ul> </div> </div> <div style="margin-top: 10px; font-size: x-small;"> <p>*単元の計画についての参考資料：授業づくりの基礎・基本（平成25・26年度岡山県総合教育センター）</p> </div> </div>	<p>プロセス3では単元を計画していきます。計画を立てる上では、それぞれの教科に応じて適切な言語活動を設定し、単元の目標を主体的・協働的に達成していけるようにします。その際、三つの方法にご留意ください。一つは全国学力・学習状況調査結果公表とともに配付される「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」を活用します。二つ目はB問題そのものを授業として捉え、単元として計画します。3つ目は、A問題もB問題も教材として捉え、教科書をすすめる上で、適切な場面を見出し、取り組ませるようにします。このように関連する資料を参考にしたり、調査問題そのものを活用したりして単元を計画することができます。</p>
<p>I - 13</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right; margin: 0;">P5</p> <p><b>プロセス4：本時の授業を計画する</b></p> <p style="text-align: center;">「岡山型学習指導のスタンダード」の「授業5」を参考に1単位時間を構成する</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="font-size: x-small;"> <p>①～⑤のポイントについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①児童生徒のやってみたい、考えてみたいという内発的な動機が喚起されるようにすること。</li> <li>②話し合い活動を行う場合、それ自体を目的にするのではなく、交流を通して身に付ける力を明確にして取り組むこと。また、自分の考えをもたせてから話し合わせる。</li> <li>③練習問題や発問によって、児童生徒に達成度を確かさせ、答得できない場合は個別指導を行うこと。</li> <li>④教員がその授業で何を学んだのか整理し、確認するようにすること。</li> <li>⑤児童生徒自身が分かったこと、できたことを振り返るようにさせること。</li> </ol> </div> </div> </div>	<p>プロセス4では、本時の授業を計画します。「岡山型学習指導のスタンダード」には、「授業5」として①～⑤のポイントが示されています。①は、児童生徒のやってみたい、考えてみたいという内発的な動機が喚起されるようにすること。②は、話し合い活動を行う場合、それ自体を目的にするのではなく、交流を通して身に付ける力を明確にして取り組むこと。また、自分の考えをもたせてから話し合わせる。③は、練習問題や発問によって、児童生徒に達成度を確かさ</p>

		<p>せ、習得できていない場合は個別指導を行うこと。④は、教員がその授業で何を学んだのか整理し、確認するようにすること。⑤は、子ども自身が分かったこと、できたことを振り返るようにさせること。これらのポイントに留意しながら、具体的な本時の主な学習活動を計画します。</p>
<p>I - 14</p>	<div data-bbox="354 801 793 1128" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>I 授業づくり共通理解研修</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国調査を生かした授業づくりについて考える。</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○書いたことを交流する。 (グループ)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○「ヒント集2」P4・5を読む。</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○気付きを書く。 (個人)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○気付きを交流する。 (グループ)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○全体で報告する。</li> </ul> </div>	<p>それでは、ここまでを踏まえて、授業づくりに関する気付きを書きましょう。 (次のスライドでワークシートを示す)</p>
<p>I - 15</p>	<div data-bbox="354 1337 793 1664" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>I 授業づくり共通理解研修</b></p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1; padding-right: 10px;"> <p>※ワークシートの赤枠部分に記入してください。</p> </div> <div style="flex: 2;">  </div> </div> </div>	<p>個人で、ワークシートの赤枠部分に記入してください。</p>

I-16	<p style="text-align: center;"><b>I 授業づくり共通理解研修</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国調査を生かした授業づくりについて考える。</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○書いたことを交流する。 (グループ)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○「ヒント集2」P4・5を読む。</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○気付きを書く。 (個人)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○気付きを交流する。 (グループ)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○全体で報告する。</li> </ul>	<p>それでは、個人で書いたことを交流してください。 (次のスライドでワークシートを示す)</p>
I-17	<p style="text-align: center;"><b>I 授業づくり共通理解研修</b></p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>※ワークシートの赤枠部分に記入してください。</p> </div>  </div>	<p>交流した内容は、ワークシートの赤枠部分に記入してください。</p>
I-18	<p style="text-align: center;"><b>I 授業づくり共通理解研修</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国調査を生かした授業づくりについて考える。</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○書いたことを交流する。 (グループ)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○「ヒント集2」P4・5を読む。</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○気付きを書く。 (個人)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○気付きを交流する。 (グループ)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>○全体で報告する。</li> </ul>	<p>それでは、グループで交流したことを全体で報告してください。 (次のスライドでワークシートを示す)</p>

<p>I - 19</p>	<p>I 授業づくり共通理解研修</p> <p>※ワークシートの赤枠部分に記入してください。</p> 	<p>交流した内容は、ワークシートの赤枠部分に記入してください。</p>
<p>I - 20</p>	<p>I 授業づくり共通理解研修</p> <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全国学力・学習状況調査で見られた課題から授業づくりをしていく。</li> <li>• 授業づくりはどの教科も同じ。</li> </ul> <p>以上で研修は終わります。お疲れ様でした。</p>	<p>授業づくりには、いろいろな方法や観点がありますが、全国学力・学習状況調査で見られた課題から授業の改善・充実に取り組むことは、子どもたちの学力の向上のために有効なものです。また、どの教科においても、身に付けさせたい力や子どもの実態から本時、単元へと授業づくりをしていくことは、大切です。以上で、研修は終わります。お疲れ様でした。</p>